



久喜市の一人の農業者として 農業で久喜市を盛り上げたい

萩原さんは、実家は非農家ですが、大学の就職活動の時に農業をやるうと決意したと言います。

「祖父の畑が、家庭菜園にしては珍しく、キウイやブドウなども育てる広い畑でした。小さい頃から親しんでいた畑も、今はアパートに変わってしまい、実家近くには辞めてしまった梨農家もあります。そんな現状を目の当たりにした時、やっぱり農業は高齢化しているし、若い人がいない。それなら自分が農業をやってみようかなって。」

大学卒業後に、農業関連会社に就職。その後、1年間農業大学校に通い、2年間の市内での研修を経て、昨年7月に独立した萩原さん。天候に左右され、収穫量が芳しくないこともありすが、こつこつ地道にやるのが好きな性格も相まって、今は農業が楽しいと笑顔が弾けます。

「たくさん収穫できた時は、きちんと育てられたという達成感がありますし、その日出荷した分が全部売れたとか、やった分だけ成果として出てくるのは、農業の魅力なのかなと思います。」

萩原さんは、地元で採れた農産

久喜市の農業

私たちの暮らしているすぐそばには、さまざまな農産物が育つ畑が広がっています。

市では、農業に関する取り組みとして、令和5年2月に、イオンアグリ創造株式会社と「食と農の包括連携協定」を締結し、協働で地域農業の活性化と地域の魅力向上を図っています。また、小面積の農地を利用し、野菜や花を育てることが出来る「しみん農園」を各地区に設けています。

新規就農へのハードル

自然を相手にする農業。皆さんの農業へのイメージは、どのようなものでしょうか。

「自由で楽しそう」「自然と戯れて生活してみたい」その一方で、「収入が安定するまで大変そう」「長時間の屋外労働で、体を壊しそう」と、マイナス面を考慮してしまうという方もいるかもしれません。

全国的にも課題となっている、農業者の高齢化や慢性的な担い手不足。「令和4年度食料・農業・農村白書(農林水産省)」によると、新規に就農した方が、就農時に課題として挙げていることは、主に農地・資金の確保や、営農技術の習得。また、就農しても、経営不

振などの理由から定着できないというケースもあります。

地産地消で

久喜市の農業を応援する

実際に、新規に就農された方はどのような感じているのでしょうか。今回は、市内で新規就農された3人の農業者を集め、日々畑で奮闘する姿を追いました。

そして、私たちの周りには、丹精込めて農産物を作っている生産者がいて、市内の「食」を支えています。そして、生産者もまた、私たち消費者に支えられているのです。「地元」で採れた、新鮮で安全な「地物」農産物。日々の生活でも、少し意識して選んでみてはいかがでしょうか。



▲夏に旬を迎える野菜はたくさんあります。



はぎわら なおと
萩原直人さん(30)

現在独立してちょうど1年ほど。苧蒲町新堀の畑で主にキュウリ、ナス、ピーマンを育てている。休日には奥様にも収穫を手伝ってもらいながら、日々農業を続けている。

物を、もっと多くの市民に食べてほしいと話します。

「久喜市の一人の農家として、市が少しでも農業で盛んになるよう頑張りたいです。キュウリは、曲がっていても味は何にも変わりません。特にかっぱ巻きを作るわけじゃなければ(笑)曲がったキュウリも、手に取ってみてくださいね。」

最近「栽培方法を数値化し、作業や収穫を分かりやすくすること」に取り組んでいると話す萩原さん。「安定的に収量が取れるような、数値化したマニュアルを作って『農

業は稼げる』と証明したいです。目指せ売上1000万円！」笑顔で語る萩原さんの目は、希望に満ちていました。



▲ここから5日ほどで食べ頃に。

萩原さんの農産物の販売場所

- ・苧蒲グリーンセンター
- ・モラージュ苧蒲2階 わくわく広場

新鮮な農産物や植物が買える/
直売所はこちら

JA 騎西農産物直売所 (加須市) | JA 埼玉みずほ さくらファーム (幸手市) | イトーヨーカドー 久喜店 | JA 南彩 久喜キラリ直売館

わくわく広場 モラージュ苧蒲店 | ヨークマート モラージュ苧蒲店 (のみ) | JA 南彩 苧蒲グリーンセンター | 久喜市梨組合除堀選果場直売所

※ のみ の場所は、梨のみを販売

他にも、個人経営・販売の農家を「久喜市農産物直売所ガイドマップ」に掲載しています。市ホームページでもご覧になれます。

ジモトでジモノを。

農業者の高齢化や慢性的な担い手不足が課題となる中、市内で新規に就農された3人の農業者がいます。「地元」で頑張っている生産者の姿を通して、農業について改めて考えるとともに、久喜市で採れた「地物」の農産物を手に取ってみませんか。